

歯みがき剤について

現在いろいろな歯みがき剤があり、どれを選べばいいのか迷われたことはないでしょうか？

歯みがき剤は薬事法の分類により、薬効成分を含む「医薬部外品」と薬効成分を含まない「化粧品」に分けられます。日本で市販されている歯みがき剤の9割は「医薬部外品」で、歯科医院以外にドラッグストアや量販店でも手軽に購入でき、形態や成分も様々です。詳しくみていきましょう！！



形状による違い

〔チューブタイプ〕

よく目にする一般的な歯みがき剤。形状はクリーム状。製品によっては研磨剤や発泡剤、フッ化物が含まれています。

〔ジェルタイプ〕

形状はとろみのあるジェルタイプで、チューブタイプに配合される研磨剤がないため、歯や歯ぐきに優しく、電動歯ブラシなどを使用しても歯への負担が少ない歯みがき剤です。

〔液状タイプ〕

マウスウォッシュや洗口剤とも言い、口全体を薬用成分が配合された液体で洗浄します。

〔粉末タイプ〕

昔はよく使われていた歯みがき剤。現在は、無添加やオーガニック素材の歯みがき剤に利用されることが多いタイプです。

〔発泡剤〕

歯みがき剤が泡立つ成分で、歯みがき剤を口腔内に拡散させ汚れの除去を促す働きがあります。ラウリル硫酸ナトリウム(界面活性剤)、ラウロイルサルコシンソーダ、シヨ糖脂肪酸エステルなど

〔防腐剤〕

歯みがき剤の変質を防ぐ働きがあります。パラベン、安息香酸塩など

〔香味剤〕

爽快感や、香りを付けることによって歯みがきしやすくなるという働きがあります。香料、サッカリンナトリウム、オレンジ油、メントールなど

歯みがき剤の基本成分

歯科医が推奨する歯みがき剤に低発泡のものが多い理由は、泡が立つことでみがけたつもりになってしまうという理由があります。



〔湿潤剤〕

歯みがき粉のしっとり感を適度に保ち、凝固や分離を防ぐ働きがあります。ソルビトール、グリセロール、プロピレングリコールなど

〔浸透剤〕

成分を浸透させやすくする働きがあります。

〔研磨剤〕

歯垢やステイン(茶渋)、タバコのヤニを落とす働きがあります。炭酸カルシウム、リン酸水素カルシウム、水酸化アルミニウムなど

〔粘調剤〕

液体成分と粉末成分が分離するのを防ぎ、適度な粘度感を与える働きがあります。

歯みがき剤の約8割にフッ化物が配合されています。むし歯予防の意識の高さを感じられますね。



ODHA
かわら版

「歯みがき剤の薬用成分」の巻

※「お口の雑学クイズ」はお休みです。

医薬部外品の歯みがき剤には薬用成分が含まれています。症状にあわせて成分を選択することで効果が期待できます。

〔ε-アミノカプロン酸/β-グリチルレチン酸〕

歯肉炎・歯周病(歯槽膿漏)などの予防や口臭の予防に効果があります。

〔イソプロピルメチルフェノール(IPMP)〕

殺菌作用があるため、むし歯の予防や歯肉炎の予防に効果があります。

〔ラウロイルサルコシンナトリウム(LSS)〕

むし歯の予防や進行を抑制する効果があり、口臭の予防にも有効です。

〔フッ化ナトリウム/モノフルオロリン酸ナトリウム〕

酸産生を抑制することでむし歯を予防し、再石灰化を促す効果があります。モノフルオロリン酸ナトリウムは主に小児用歯みがき剤に配合されます。

〔サリチル酸メチル〕

歯ぐきなどの炎症を抑える効果があります。

〔トラネキサム酸〕

歯周病(歯槽膿漏)などによる出血を抑制する効果があります。

〔乳酸アルミニウム/硝酸カリウム〕

象牙細管を薬用成分が塞ぐことによって歯がしみるのを予防します。

〔ポリリン酸ナトリウム/ポリエチレングリコール〕

タバコのヤニを除去する働きがあります。

〔デストラナーゼ(酵素)〕

歯垢(プラーク)を分解・除去し、薬用成分でコーティングすることで、再付着を防ぐ効果があります。